

補助事業番号	2019M -	補助事業者名		補助事業名	
--------	---------	--------	--	-------	--

補助事業番号をご記入ください

補助事業者名をご記入ください

補助事業名をご記入ください

2019年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)

項番		総事業 項目数		補助事業項目名	
----	--	------------	--	---------	--

項番と総事業項目数をご記入ください

補助事業項目名をご記入ください

作成月日・作成者名をご記入ください

作成日	2021	年		月		日	作成者	
-----	------	---	--	---	--	---	-----	--

1. 2019年度補助事業で実施した事業(公設試 共同研究)についてご記入下さい。

研究分野	
共同研究先	

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5)4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。

○採点基準については、2019年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』p27,28スコアリングガイドをご参照ください。

(2) 事業 内容	事業の 発展性				採点
(3) 達成 目標	事業の 成果・波及 ※自己評価1回 目から変化が あった場合に ご記入ください。	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点

現時点での「実績値」を記入してください。

パーセンテージについては、自己評価1回目(4/5)との比較ではなく、交付誓約書添付の「事前/自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(2/5)3. 補助事業実施の必要性(1)補助事業が最終的に目指すこと』の、現時点での達成状況をご記入ください。(過去年度から継続して実施している事業の場合は、それも踏まえてください。)

--	--	--	--	--	--

3. 補助事業として実施した研究内容の段階を選択してください。

当てはまる箇所にチェックしてください。

<input type="radio"/> 基盤(実用化以前の段階)	<input type="radio"/> 実用化(試作品の開発、装置の開発)	<input type="radio"/> 製品化(注文販売化、量産化)
------------------------------------	---	--------------------------------------

4. 補助事業から得られた研究成果が、社会で実用化・製品化されるのにどの程度の年数が必要と考えられますか。

当てはまる箇所にチェックしてください。

<input type="radio"/> 補助事業年度内に既に実用化・製品化済み	<input type="radio"/> 1年以内	<input type="radio"/> 1～3年程度	<input type="radio"/> 3～5年程度
<input type="radio"/> 5年以上	<input type="radio"/> わからない	<input type="radio"/> その他	

※既に実用化・製品化済みの場合、詳細をご記入ください ⇒

※その他を選択した場合、詳細をご記入ください ⇒

5. 地場産業と当該事業に関連があれば、その具体的な内容をお教えてください。

地場産業 ⇒ (どのような産業か)	
(どのような関連があるか具体的に記入ください)	

6. 当該事業について、メディア等で紹介された事例がございましたらお教えてください。

--

7. 今後、事業の継続や他に共同研究等を行う予定があればお聞かせください。

--

8. 公設試及び事業分野を取巻く状況や課題をお聞かせください。
また、JKA以外で今回の事業と同様な事業等に対し助成を行っている補助団体についてご存知であればお教えてください。

--

9. 上記1～8の補足や、JKAに対するご要望等がございましたら、ご記入ください。

--

以上です。ありがとうございました。 m2019hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【振興事業(公設 共同研究)】